

「落語で学ぶ終活」セミナーを開催しました

2024年4月20日（土）14時より盛岡市中ノ橋通の「プラザおでっ」にて97名のご参加により開催いたしました。

第1部 「終活で考えるべきこと」と題して当会佐川が講演し、終活で考えるべきことは次の5つであることを説明いたしました。

- 1 老後の生活のこと
- 2 身の回りの物の整理
- 3 医療、介護についての希望
- 4 葬儀のこと
- 5 相続のこと



終活を進めるにはエンディングノートが便利であること、終活には「気力」「体力」「判断力」が必要であり、まさにお元気なうちに取り組むことが肝要であると思います。

第2部 桂ひな太郎師匠による演目「終活落語」を披露いただきました。

題名は天国からのラブレター。

突然事故死した父親が、残された子供たちに天国から遺言書と手紙を書くストーリーで、生前に気持ちを伝えておく大切さを訴えた内容です。



第3部 ひな太郎師匠を交えてのトークライブ形式により、パネラーには桂ひな太郎師匠、遺品整理などを扱う「トータルサポート唯一」の佐々木代表取締役、当会代表理事の横沢、司会は当会佐川の進行で行いました。

それぞれの立場から現場ではどのような事象が起こっているか発表がありました。

終活は、高齢者が早めに準備しておくことに越したことはないことが各パネラーから問題提起がありました。



7月2日には実際エンディングノートの作成を行うセミナーを開催することのお知らせと終活がより身近なものになるような取り組みを今後も続けていくことで全ての講演を終了いたしました。